

登録コード	HM124800	開講年度	2026				
授業題目	耳鼻咽喉科頭頸部外科学特別研究					担当教員	工 穰 他
英文授業名	Research Thesis in Otorhinolaryngology - Head and Neck Surgery					副担当	鬼頭 良輔・吉村 豪兼・岩佐 陽一郎
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					⇔	未解決の課題に対して、それを解明していく手順を考え、実践し、時に修正して、最終的に課題解決へ導く力を身につける。
(2)詳細/Detailed information	耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域における様々な研究について学び、日常診療の中から未解明な点を探り出し、自らの力で研究・解明していく力を身につける。						
(3)授業の概要/Overview of course	耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域における様々な課題を解決するために必要な知識と技術を検索し、実習を通じてそれを習得し、結果をまとめる。						
(4)授業計画/Course plan	・側頭骨疾患（中耳・内耳疾患）に関して広く学習し、真珠腫をはじめとする各種中耳炎、メニエール病などの末梢前庭障害、先天性難聴や若年発症型感音難聴などの蝸牛障害について、病態解析および発症抑制や治療に関する研究指導を行う。 ・鼻副鼻腔疾患の近年の分子標的薬治療について学び、好酸球性副鼻腔炎を中心とする難治性副鼻腔疾患の病態解析および発症抑制や治療に関して、研究指導を行う。 ・頭頸部がんの遺伝子発現や分子標的薬治療について学び、頭頸部がんゲノム医療の実戦に向けた遺伝子解析（がん遺伝子プロファイリング検査）および治療効果が期待できる治療薬の選択について、研究指導を行う。 ・小児上気道狭窄疾患（睡眠時無呼吸症）の発症メカニズムについて学び、病態解析や睡眠障害が引き起こす全身障害および治療による改善効果などに関して、研究指導を行う。また、把握困難な小児の睡眠状態をより視覚的に客観的に捉えるための新規計測機器の開発についても、研究指導を行う。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	1) 研究目的の決定, 2) 研究デザインの作成, 3) 研究の実施・解析, 4) 考察および結論, に関してレポート作成および討論を行い、レポート作成（70%）と討論（30%）で成績を評価する。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	各項目に関して文献検索やレポート作成を行うので、パソコン作業が行え、かつデータの送受信ができるように準備する。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	授業中や各担当教官のオフィスアワーに適宜連絡を取る。						
(8)授業の形式/Course format	講義と研究指導によって行う。						